

凡例および本書の使い方

introduction

写真について

- 本書に掲載した薬用植物の写真は、日本薬局方に記載された生薬の原植物である。
- 薬用植物と生薬の写真は株式会社ツムラから提供していただいた。一部に監修者の御影雅幸先生から提供していただいた写真があり、その場合には写真の下に©MIKAGE Masayukiとクレジットを付した。

タイトル

- 日本薬局方にもとづき、カタカナ・漢字・英語・ラテン語で生薬名を表記した。

基原

- 第17改正日本薬局方および第一追補、日本薬局方外生薬規格2015の記載によった。また現在APG分類が世界で広く採用されていることに鑑み、APG分類において科が変更されたものには*印を付けて下に注釈を加えた。ただし、以下に示す8つの科名は「植物命名規約」において正式な科名として扱われるため、注釈を付していない。さらに、YList (植物和名一学名インデックス) を検索して異なる学名が用いられている植物には〔 〕を付けて参考までに記載した。

「植物命名規約」において、長い間使われてきた次の学名は正式に発表されたものとして扱われる。() は代替名で、APG分類はこちらを用いている。
 Compositae (Asteraceae), Cruciferae (Brassicaceae), Gramineae (Poaceae), Guttiferae (Clusiaceae), Labiatae (Lamiaceae), Leguminosae (Fabaceae), Palmae (Arecaceae), Umbelliferae (Apiaceae)

生薬の解説

- 生薬の解説はツムラ生薬研究所が執筆した。



インチンコウ

茵陳蒿 茵陳蒿

Artemisia Capillaris Flower ; ARTEMISIAE CAPILLARIS FLOS

基原 キク科 (Compositae) のカワラヨモギ *Artemisia capillaris* Thunberg の頭花。

茵陳蒿とは カワラヨモギは河原や海岸の砂地に生育する多年草で、東アジア～東南アジアに広く分布する。日本では本州以南にみられる。9～10月に茎の先端の総状花序に無数の小さな頭花をつける。河原に生育するものと海岸に生育するものは、地上部の形が大きく異なる。秋に採集した頭花を乾燥したものが生薬「茵陳蒿」である。中国薬典は「茵陳」としてカワラヨモギのほかハマヨモギも規定し、春の幼苗の葉を「茵陳蒿」、秋の頭花を「花茵陳」として記載する。茵陳蒿の名は、秋、葉が枯れたのち、春に古い(陳)苗に因む新葉が生じる嵩であることに由来するという説がある。



Artemisiae Capillaris Flos



●主な成分 クマリン類 (dimethylsculetin), クロモン類 (capillarin), フラボノイド, モノテルペノイドなど

●主な薬理 胆汁分泌促進作用 (イヌ, ラット, マウス)^{1)~6)}, 肝障害抑制作用 (ラット, *in vitro*)^{7) 8)}, 肝アポトーシス抑制作用 (ラット)⁹⁾, ヒスタミン遊離抑制作用 (ラット)¹⁰⁾

●性味 味 苦・辛, 微寒

●帰経 脾・胃・肝・胆経

●薬能 清利湿熱・利尿退黄

●主治 黄疸・尿少・湿温暑湿 (暑湿病)・湿瘧の痒み

●古典 重校薬徴 発黄, 小便不利を主治す。
古方薬議 熱結黄疸, 小便不利を主り, 伏瘕を去る。

主な成分・主な薬理

- 主な成分・主な薬理は、ツムラ生薬研究所が監修した『生薬一覽』の記載を用いた。
- 主な薬理において付した肩付き数字は、巻末の文献一覽と対応しており、一覽ではそれぞれの薬理の根拠となる論文を示している。

性味・帰経・薬能・主治

- 生薬の性味・帰経・薬能・主治は、『中国薬典(2015)』の記載によった。ただし『中国薬典』未記載のものは、『中薬大辞典(第2版)』(南京中医药大学編著・上海科学技术出版社・2012年刊)によった。
- なお、性味・帰経・薬能は中国語の簡体字表記をそのまま日本の漢字に置き換え、主治は必要に応じて編集部で訳した。

古典

- 古典は、『重校薬徴』(吉益東洞著・尾台榕堂重校・西山英雄訓訳・創元社・1976年刊)と『古方薬議』(浅田宗伯著・木村長久校訓・春陽堂・復刻第1版1982年刊)の記載を用いた(一部常用漢字に置き換えた)。

薬効分類

- 各生薬を中薬学(中国で発行されている統一教材『中薬学』や神戸中医学研究会編著『中医臨床のための中薬学』など)を参考にし、解表薬・清熱薬・散寒薬・瀉下薬・利水滲湿薬・祛風湿薬・行気薬・理血薬・化痰止咳平喘薬・消導薬・補益薬・安神薬・収澀薬・平肝熄風薬の14種類に分類し、それぞれタイトルの色やインデックスに反映させた。
- 川骨や檉木のように中薬学にない生薬については、監修者の御影雅幸先生に分類していただいた。

- 解表薬
- 清熱薬
- 散寒薬
- 瀉下薬
- 利水滲湿薬
- 祛風湿薬
- 行気薬
- 理血薬
- 化痰止咳平喘薬
- 消導薬
- 補益薬
- 安神薬
- 収澀薬
- 平肝熄風薬